食育だより　１月号

令和７年１月
船橋市立習志野台中学校

新年明けましておめでとうございます。今年も、みなさんの心と体の栄養を満たすおいしい給食を提供できるよう努めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

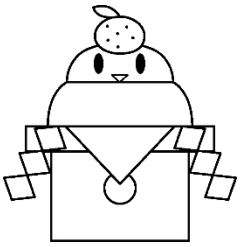
１月 24 日から 30 日の１週間は「全国学校給食週間」です。普段、何気なく食べている学校給食について改めて知るよい機会にしましょう。

全国学校給食週間とは？

学校給食は、戦争のために中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、その必要性が叫ばれるようになり、再開することになりました。

まず試験的に、昭和 21 年 12 月 24 日に、三都県（東京、神奈川、千葉）で実施することになり、同日に東京都内の小学校でララ（アメリカの宗教団体等からなるアジア救援公認団体）からの給食用物資の贈呈式が行われました。その日を学校給食感謝の日と定めていましたが、その後、冬期休業と重ならない１月 24 日から 30 日までの間を「学校給食週間」としました。

鏡開き



鏡開きとは、お正月に神様にお供えしていた鏡もちを下げ、それをいただく行事です。鏡もちは、新年の神様である「年神様（としがみさま）」が宿る場所です。食べることで年神様の力を授けてもらい、一年の無病息災を願います。

１月 11 日に行われるところが多いですが、地域によっては違う日に行われています。

鏡もちを小さく割るとき、刃物で切るのではなく、木づちなどを使います。これは、鏡開きが武家社会から始まった行事であることから、刃物で切るのは切腹を連想させ、縁起が悪いとされていたためです。また、「割る」という言葉も縁起が悪いため、「開く」と言い換え、鏡開きといわれるようになりました。

リクエスト給食

１ 月の給食は、事前に給食委員により各学年で実施されたアンケート結果をもとに、料理や献立を取り入れました。献立表に記載しています。
少しでも給食の時間を楽しく過ごしてもらえたら幸いです。